

3.京都府-①.舞鶴市三浜

(3)-2 現地調査結果-上流状況等



平水時上流の治山ダム。



上流治山ダムの堆砂敷 容易に濁水が発生する。



平水時堆砂敷上流の状況



平水時の取水桝と原水取水弁と導水パイプ。



施工当時の資材運搬路が残存。



隣接溪流にある主水源の取水口。

上流部の谷止工は、上流堆砂敷に濁質を固定している。堆砂敷上部の溪流は転石が組み合い安定化している。施設の最下流に配置された取水桝で三角ノッチを設置し水位を計測すれば、流量を安定的に計測できると想定される。施設には資材運搬路を通じ、重機を横付け可能である。なお、隣接する溪流には主水源となる溪流があり、取水口が設置されている。

3.京都府-①.舞鶴市三浜

(3)-3 現地踏査結果-低水時の施設確認



低水時(令和3年3月12日9時撮影)。



集水桝の排泥弁。



湛水部の排泥弁。



止水堤の水抜きにある栓を抜くためのチェーン。



湛水部と左岸作業空間。



湛水部の下流浄化カートリッジ

令和3年3月12日に現地調査計画検討のために踏査。低水状態で集水桝の放水路を越流する水深は1cm未満。排泥弁のハンドルは固着している可能性あり。浄化ユニットの脱着は可能。低水時に正確な流量を観測するには、集水桝の放水路に三角ノッチが必要と想定される。

3.京都府-①.舞鶴市三浜

(3)-4 現地踏査結果



中間部の浄化ユニット。



水叩部と鋼製枠の手前水面下に砂止壁。



鋼製スクリーンダムから滴下する表流水。



鋼製スクリーンダム堆砂敷上の細粒土(濁質)。



上流治山ダム水抜きからの表流水。



上流治山ダムの堆砂敷。

令和3年3月12日に現地調査計画検討のために踏査。鋼製スクリーンダムと上流部の治山ダムは濁質の固定に貢献しているが、表流水の透過に貢献しているかは不明。